

歳入の主なもの

(100万円以上)

○町税

・個人町民税(現年課税分)
7078万1千円減

・固定資産税(現年課税分)
1214万3千円増

○地方交付税

・普通交付税
8763万8千円増

○国庫支出金

・子どものための教育・保育給付費負担金
3606万9千円増

・重点支援地方交付金
2618万2千円増

・地域脱炭素移行・再エネ推進交付金
1216万4千円増

○道支出金

・子どものための教育・保育給付費負担金
1527万7千円増

・強い農業づくり事業費補助金
515万4千円増

○財産収入

・株式会社苦東配当金
161万9千円増

・町有地売却収入
2040万円増

○繰入金

・財政調整基金繰入金
1681万6千円減

・まちづくり基金繰入金
3128万円減

○諸収入

・過年度収入(令和6年度子どものための教育・保育給付費国庫負担金ほか5件)
2500万8千円増

◇国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

国民健康保険税還付金の増額が主なもので、歳入歳出それぞれ30万1千円を追加し、予算の総額を8億8925万6千円とするもの。

◇水道事業会計補正予算(第2号)

北進浄水場の機器更新による増額で、資本的支出に172万7千円を追加し、

資本的支出の総額を1億3003万1千円とするもの。

◇下水道事業会計補正予算(第2号)

職員人件費の増額で、収益的支出に歳出18万4千円を追加し、収益的支出の総額を6億5892万7千円とするもの。

意見書

議員から提出された2件の意見書については、次のとおり決定しました。

- ①OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書【原案可決】
- ②国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書【原案可決】

可決された意見書は安平町議会議長名で、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣特命担当大臣(国土強靱化)、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣に提出しました。



所管事務調査

経済常任委員会

農作物の生育状況調査について

9月2日開催



たまねぎ圃場(追分旭)

本年度の農作物の生育状況調査のため委員会を開催しました。

はじめに総合庁舎議員控室において産業振興課から今年の瑞穂ダムの貯水量の状況に関する報告と調査の行程等について説明を受け、引き続き胆振農業改良普及センターから各作物の生育状況の説明を受けたあと質疑応答を行いました。

説明終了後は現地調査のため町バスにて現地向かい、水稻及び子実トウモロコシ、馬鈴薯、たまねぎの各圃場において生育状況などについて現地で担当者から説明を受けるとともに報告を受けた瑞穂ダムの貯水

状況の確認のため現地で説明を受け、調査を終了しました。

各作物の生育状況は総体的に平年より早く進んでおり、気象状況と9月1日現在の作物別の生育状況は次のとおりとなっています。

気象状況

【降水量】

4月は平年に比較し35mm程増えたが8月は平年より106mm減少しており、4月から8月の降水量の合計は363mmと平年より179mm程少なかった。

【日照時間】

4月は平年より47時間程短かったがそれ以外の月は平年を上回り、4月から8月までの合計では平年より129時間程長かった。

【平均気温】

4月と5月は平年より平均1・8℃、6月は平均3・3℃程高く推移し、7月と8月は平年より平均4・6℃程とさらに気温が上

昇し、平年より高い気温が続いた。

【その他】

瑞穂ダムについての報告があり、4月1日から8月25日までの降水量は昨年と比較して277mm減少し、貯水率は昨年27・5%であったが8月25日現在の貯水率は12・0%となった。現在すでに水田灌漑は終了しており貯水率の減少による影響は無かったものの、今年は近隣のダムも含めて

大変厳しい状況となった旨報告がありました。

作物別生育状況

(9月1日現在)

【水稲】

稈長及び穂長は平年並みで穂数はやや少ない状況。生育は高温・多照により登熟が進み、平年に比べると大幅に(12日)早く進んでいることから一部の圃場では収穫が始まっており、最近の降雨による倒伏が一部

の圃場で確認された。

今年は例年に比べて不稔割合が少ないことが確認されており、カメムシ等の害虫による被害も大きなものはなかった。

品質については高温で懸念されていた白未熟粒の現象はあまり見られない。たんばく値は今後収穫物の確認で行うが、やや高い傾向となる見込み。

【馬鈴薯】

降雨の影響による植え付け期間に幅が出たため植え付け作業は平年より遅いスタートとなったが、収穫は好天が続いたことで1日早くなり順調に進んでいる。いも数は平年よりやや多く、1個重は平年並み。一部で二次成長や土中萌芽・そうか病が見られた。

【大豆】

生育は5日早く、草丈・着莢数は平年並みだが葉数・栽植本数はやや少ない。一部の圃場では葉の黄化が見られることから早い圃場では成熟が進んでいくと見

込まれており、成熟期は早まる見込み。



馬鈴薯圃場（早来瑞穂）

【小豆】

すでに成熟期を迎えており生育は4日早い。平年に比べ草丈はやや長く、着莢数もやや多い。登熟は早い見込み。葉数は平年並みだが栽植本数は少なく、一部で茎が倒れる「なびき」が起こっている。

【てん菜（直播）】

てん菜の根周の大きさは最近の小雨で生育が停滞している。また、小雨に加えて一部でシロオビノメイガ等の害虫の飛来による被害が発生していることも根周の生育の停滞に影響している。

瑞穂ダム



【牧草】

8月15日の状況で2番草の生育は3日遅れ。

チモシーの品種が高温等の影響から夏枯れする現象が見られ、草丈が伸びず収量は減っているものの、圃場の場所によってあまり影響を受けていない圃場もある。

2番草の収穫は平年並みに推移している。

【とうもろこし（サイレージ用）】

高温の影響で登熟が進み、生育は5日早く程長は平年並み。収穫はすでに始まっている。



農産物集出荷貯蔵施設（追分弥生）

令和7年度 議会懇談会の開催について

今年度も議会懇談会を下記の日程で日中と夜間に分け、4地区で開催いたします。お住まいの地区以外の会場にお越しいただけますので、どうぞ都合の良い会場に足をお運びください。

内容等詳細につきましては後日、新聞折込チラシ及び町ホームページ、あびらチャンネルデータ放送にてお知らせいたします。

	開催日	時間	会場
1	11月9日 (日曜日)	午後2時00分から	ぬくもりセンター（多目的情報ホール）
2		午後6時00分から	町民センター（研修スペース）
3	11月13日 (木曜日)	午後2時00分から	安平公民館（多目的ホール）
4		午後6時00分から	遠浅公民館（多目的ホール）

※各会場2時間程度の予定です。

令和7年度 安平町議会議長の交際費の執行状況

（単位：円）

支出月	支出日	支出内容	支出金額
4月	4月25日	安平町商工会青年部総会・懇親会祝酒(4/16)	2,228
5月	5月2日	安平町誘致企業会総会祝酒(4/23)	2,228
	5月2日	安平建設協会懇親会費(5/9)	5,000
	5月15日	苫小牧地方総合開発期成会総会・懇親会費(5/20)	5,000
	5月30日	安平町商工会第18回通常総会・懇親会祝酒(5/16)	2,376
6月～8月	支出なし		0
9月	9月10日	経済常任委員会（作況調査）における胆振農業改良普及センター職員来町に係るお茶代(9/2)	1,800
	9月10日	第32回安平町誘致企業会チャリティーゴルフ記念大会祝酒(9/2)	2,376
	9月19日	早来神社例大祭の奉献酒(9/8)	2,376
	9月25日	ダイナックス アーロム ワイナリー新築工事竣工式の奉献酒(9/2)	1,790
	9月25日	若草地区敬老会お祝い(9/15)	2,851
令和7年度（4月～9月）合計			28,025



おがさわら なおじ
小笠原直治議員

**人口推計、2045年には4,872人になると設定する。
人口減少が町民への影響と課題を、
行政・議会・町民が共有すべきである。**

将来人口フレームは理解されているか。

質問 都市計画マスタープランの人口推計4,872人で、町づくりを組み立てて行くのか。町民浸透度は。

答弁 将来展望による人口推計は、町づくりや政策を進める上では、市街地の規模や人口の在り方を想定し、都市計画プランや下水道計画など長期的な計画を策定する上で基本となる。これを目標に進めていく。町民浸透度等は、特に調査していないので分からない。

**普通交付税は、
国の財政重要額の
算定で決まる**

質問 現行の国の1人当たりの交付税額は。

答弁 国の公表額。安平町の令和5年度総額は、26億4,537万円。人口7,311人で割ると、1人当たり36万1,835円です。普通交付税では、交付額22億7,577万2千円を人口で割ると1人当たり31万1,281円になる。

質問 普通交付額は、基準財政需要額から基準財政収

入額を引いた財源不足が、普通交付税額なのか。

答弁 その通りです。

質問 直近の基準財政収入額と基準財政需要額は。

答弁 令和6年度の基準財政収入額は、17億8,313万2千円。基準財政需要額は、42億5,189万1千円。交付税額は、24億6,875万9千円の差引額が交付されている。

質問 「基準財政収入額」は、普通交付税の算定に用いるもので、標準的な地方税収入×100分の75+地方譲与等の算式によるもの。「基準財政需要額」は、普通交付額の算定基礎となり、財政需要を算定するもので、単位費用×測定単位×補正係数の算式により算出されるとの認識で良いか。

答弁 その通りです。

質問 人口、世帯数、学校数、児童数の減は、基準財政需要額が変わり、人口減少により、普通交付税が減額されるとの理解で良いか。

答弁 人口減が交付税の減額にはならない。小規模自治体は、補正係数等で基準

財政需要を嵩上げしている。

質問 推計人口4,870人では、上下水道料金、国保・介護、補助金、交付金はどう変化していくのか。

答弁 正確な人口減少時の受益者負担は増になると考えている。上下水道料金改定は、今後出てくる。

人口減少は「暮らしを支える」対策の再構築が必要

質問 人口減少、地域経済の縮小による影響は、計り知れない。経営資源の制約により、公共サービスの維持は困難。「暮らしを支える」対策の再構築が必要。

答弁 人口減少が進むと、職員定数の減少等が危惧される。行政サービス維持はデジタル技術の活用、AI導入を進めているが、事務業務の見直し、窓口業務の民間委託の検討等でサービス維持が考えられる。都市計画マスタープランでの町民4,872人の「暮らしを支える」対策、行政サービス、税制負担を含めた住民

生活がどうなるのか検討には至っていない。

質問 住民生活のニーズは、家事援助、見守り、子育て支援、住民の足の確保、住民の交流など、幅広く存在している。人口減少による民間事業者の撤退・縮小。自治会・町内会組織の衰退等、暮らしを支える機能の低下が想定される。これら課題を町民と共有し、進めていく事を研究しては。

答弁 町民、団体、企業等と協議、検討が必要となる。対応する方向で考える。

質問 総務省研究会では、自治体は住民に直接サービスを提供する役割から、公・共・私間の新しい協力関係を構築する土台・場、プラットフォームを作る役割ビルダーへ転換する考え方が示されているが、これを研究して選択の一つとし、町民に示す考えは。

答弁 総務省・民間の考え方で、良いものがあれば検討し、その方向性に進んで行く事も考える。



よねかわ えみこ
米川恵美子議員

太陽光発電事業と自然環境保護を考える！ 高齢者自立支援は 新たな対策に変更する時期ではないか？

質問 豊栄の民有地の土砂運搬後の利用は、昨年12月議会では植林するとの答弁だった。最近になり太陽光発電施設の設置情報があり視察したところ、昨年より広く土砂の運び出しが行われていた。町に太陽光発電事業の計画が提出されているのか。町には環境基本条例と太陽光発電施設の設置に関する条例があるが、国と道も合わせて法令上の対応はどうするか伺う。

答弁 町の太陽光発電設備の施設条例の他、国や道の関係法令が19あり、それに基づき北海道や振興局との協議や届け出許可が必要となる。町としては担当課に関係法令の照会を行い、取りまとめて事業者に回答の段階。

質問 地目はどうか伺う。

答弁 林地開発と伐採届のため山林になっている。

質問 登記簿上は山林だが小麦を植えた事実から町の担当に聞いたところ、農地だとの回答を得た。実際はどうか。農地であれば断れるのではないかと思ひ伺う。

答弁 二種農地判定のため要件を満たすと許可は可能な土地になっている。

質問 3か所すべてに許可が可能なのか伺う。

答弁 84番地は二種農地、91番地は来年3月まで土砂採取後農地造成ということ。道より林地開発許可を受けている。先に19の法律が関係すると言ったが町の条例より上位になるもの。関係部署、役場などと協議を行い、地域住民に説明した後、事業計画が提出されると許可されるもの。現在、土砂の採取が行われている場所は植林する。

質問 隣接農業者の被害懸念にどう対応するのか伺う。

答弁 林地開発許可の要件は災害防止、水害防止、水の確保、環境保全であり、ご指摘の懸念事項を満たした上で道知事から許可を受けたもの。

質問 公園内の道幅が大型車輛が通行することで広げられている。貴重な植物がなくなり自然破壊になっているのではないか。今後とも通行許可するのか伺う。

答弁 保健保安林内を通る町道は町の水道施設に關係する重要な道路であり、砂利道の損傷防止と保健保安林に影響を与えない目的で鉄板を敷設している。協定を結び道路保全の上使用する許可を出している。

質問 過去1年間で高齢者が救急搬送された原因と出動件数を伺う。

答弁 急病者193件、転院45件、一般負傷46件。病氣原因は消化器系、呼吸器系、心疾患、脳疾患、熱中症3件あった。

質問 原因によっては事前の手立てが必要ではなかったか。自立を助ける対策の考えを伺う。

答弁 医療、介護を受けていない健康状態不明者への訪問や老人クラブなどサロン活動での健康教育、健康相談を実施している。

質問 楽しみながら健康に気を付ける取り組み、例えばウォーキング、料理教室などフレイル予防も考えて対策はどうか伺う。

答弁 口腔運動機能、栄養状態低下による身体的フレ

イルは今後高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の中で何か事業を進められないか検討している。

質問 エアコン設置の補助金制度を検討してはどうか。

答弁 エアコンの設置補助の制度の考えはない。ゼロカーボンの取り組みとして永年使用の家電の買い替え購入、化石燃料削減仕様の暖房機購入などに補助を検討している。例えば暖房機能付きエアコンの購入の補助についても考えたい。

質問 道銀に対して年金支給月だけでも窓口対応可能になるよう職員を追分郵便局に一定期間派遣要請ができないのか伺う。

答弁 道銀に聞いたが難しいとのこと。改めて伝える。

質問 長寿祝い金だが77歳146名から88歳52名までに3分の1の人口になることを考えると頂けない人の方が多い。毎年誕生お祝い金のように見直しをできないか伺う。

答弁 国のお祝いのように現行のまま事業継続する。